「授業備品」N019 H.28.6.20「脱、スモールステップ」「10 分で作る学習指導案」（６県に配布中）

１　「脱、スモールステップ」

子供が発言すると、すぐその言葉を補完したり、解説をする。かつての自分の授業である。

・教師がよく話すため、子供は何も話さなくなる。子供の主体的、協働的な授業とはならない。

・教師主体の授業となり、「覚える」ことが中心の授業となりやすい。子供に表現力が身に付かない。

◎子供が意見を発表すると、教師がその都度、反応する。典型的な一問一答型（スモールステップ）の授業である。子供が発言したら、反応するするのは子供である。子供は仲間と話し合いたいと思っている。教師は板書役に徹し、子供の発言を見守るようにするとよい。

17　学び合い１(単純意見交換)

①意見や調べた事実の単純な意見交換(意見集約)②事実を根拠を基に整理③意見を発表

課題について自力やペア(隣・前後）や班学習等で分かったことや気が付いたことを発表させる。ここでは、単純な意見交換にとどめさせる。個人で発表する時、グループで発表する場合がそれに当たる。この段階で意見交流を終えない。練り上げのない全体会となるからだ。

Ｔ「意見や事実、分かったことをまず出してください。」◎スモールステップとしない。

18　学び合い２「考察」

①学習課題に迫る「考察(相互評価)」②仲間に、賛成、同じ、反対等を述べる③１～２グループ取り上げ、自分達のグループの考えとつなげさせる④全グループの考えを一度に示し、比較・分 類を通してねらいに迫る

個人やグループが順番に発表する形だけでは意見交換は深まらない。個人やグループでの学び合いを全体での学びの深まりにつなげるようにする。共通点や相違点、類似点を見つけさせ、主体的に話し合いをさせる。アクティブ・ラーニングの中心活動の一つである。

Ｔ「意見や事実、分かったことをまず出してください。」「意見で気が付いたことをまず出してください。」
◎考えを発表させたら、子供たちが自ら意見集約を図る。

◎　ここからが教師の出番である！

19　教師の修正

・課題に迫れない時・付け足す・切り返しの発問・ねらいとまとめとの整合

ここは、教師の出番である。課題解決に迫れない時や話し合いの方向性が明らかに課題からずれている時には教師が修正をする。その際も教えようとせず、最小限のヒントを出すことが重要だ。本時のねらい等を再度確認させたりすることで子供が気付くような支援を行う。

Ｔ「みなさんの意見は、今日のねらいとずれていませんか？今日のねらいをもう一度確認して考えてみましょう。」

２　「10 分で作る学習指導案」

指導案の作成に時間をかけ過ぎない。授業の流れを第一に考えれば下記のような形となる。指導案は、短時間(10 分)で作成し、展開のシュミレーションに時間をかけるとよい。高知県安田小学校では、次のような指導案を全員が書いている。なお、かつて示した授業備品から進化している。

「相互授業参観指導案作成様式(ワンペーパー指導案)」　日時　　場所　　対象学級　　指導者

1　本時の構想

(1)ねらい（あいまいな目標とせず、行動目標を書く。）

・～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～（見通し（課題設定）―働きかけ１）
・～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～（学び合い（言語活動）―働きかけ２）
・～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～（まとめ・振り返り―働きかけ３）
・～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～（教科目標）

(2) 展開

展開	○学習活動・生徒の反応	○教師の働きかけ　☆評価
問題の提示	1　学習グッズを確認する 2　課題とゴールを確認する **3　キーワードを確認する** 4　前時の振り返りをする 5　本時の資料を見て気付きを発表する 気付いたこと　・考えられること・調べてみたいこと	1　学習グッズを黒板に掲示する 2　課題とゴールの一体化を図る **3　キーワードを掲示する** 4　前時の振り返りを指示する ・ノートや学習掲示等で振り返らせる 5　本時の資料を提示する
問いをもつ	6　問題を解く方法を一人で考える	6　１分間見させる。
問いの共有	7 問題の解決方法おおよその答えを確認する ・ペアや 班等で見通す	7　解決方法や大よその答えの確認の指示をする
（課題の設定）	8　課題を確認（２段書き） 9　本時のシラバス・言語わざの確認 10　課題解決の予想が立つかをサインで確認	8　学習課題(２段課題)の設定 ・振り返り、本時の資料を基に、子供たちが問いを持てるような課題提示を行う 「○○から、○○を見つけよう。また、そのことについて考察をしよう。」 9　学習の流れと言語わざを提示する 10　【働きかけ１　見通し（課題設定）の支援】 ○発問「～～～～～～～。」 ☆評価（～～～～～できる。）
自力解決	11　一人で課題を解決する	11　机間指導（赤ペン指導）
集団解決	12　ペア・班等で学習をする 13　全体の学び合い１「事実・単純な意見集約」 （課題１段落目） **14　全体の学び合い２「相互評価（考察）」** （課題２段落目） 15　教師の修正を聞く	12　班学習の仕方を指示する 13　一斉学習で事実や「単純な意見発表」を指示 **14　考察を指示「子供の話し合いでの授業展開」** 15　教師の修正 【働きかけ２　言語わざ・学び合いの支援】 ○発問「～～～～～。」 ☆評価（～～～～～ができる。）
価値の共有（まとめ）	16　自分の言葉でまとめる	16　学習問題とまとめをつながせる。
振り返り	17　振り返りを書く ①　分かったこと②学んだこと③知りたいこと	17　３視点で振り返りを書くことを指示する （発展・補充問題も可） 【働きかけ３　振り返りの支援】 ○発問「～～～～～～～～。」 ☆評価（～～～～～ができる。） 【働きかけ４　教科目標到達の支援】 ○発問「～～～～～。」 ☆評価（～～～～～ができる。）

本時の資料	課題	学び合い１ (事実・単純な意見交換)	学び合い２(考察)
気付いたこと・考えられること・調べたいこと	一人学び・ペア学習・班学習		まとめ・振り返り